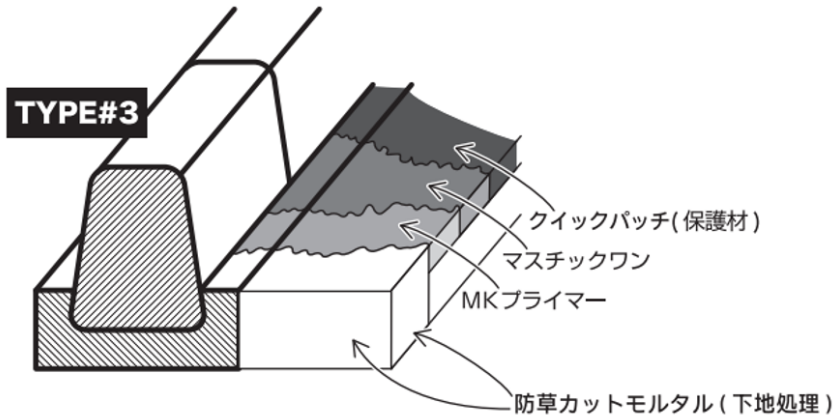


防草カットシール施工要領書

TYPE3



TYPE#3

*加熱アスファルト+保護材

雑草の根深い場所や耐久性に優れている

適応条件

項目	適用基準
用途	アスファルトとコンクリート継目部に生える草
自然条件	降雨、降雪時は施工不可能
路面温度施工条件	4°C以上
路面温度条件	-10°C~60°C

調査 目視調査から評価

目視調査でアスファルトとコンクリート継目部に雑草が発生している場合、雑草が舗装破壊になると、察知した場合、路面性状調査を実施し、詳細を把握する。

材料 1. 目地材

材料名	荷姿
マスチックワン	18.4 kg/箱

*この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物収集場所に処分する。

*保管は1年間

*雨に濡れないよう、製品にシートをかけてください。

2. 防草カットモルタルは、「無収縮モルタル」又は、同等品以上とする。

材料名	荷姿
防草カットモルタル	2kg/袋

*この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物収集場所に処分する。

*保管は半年間

*雨に濡れないよう、製品にシートをかけてください。

3. 保護材

材料名	荷姿
クイックパッチ	4.8Kg/セット

*この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物取集場所に処分する。

*保管は半年間

*雨に濡れないよう、製品にシートをかけてください。

品質管理

◆マスチックワン

性能評価	試験項目	試験結果	備考
割れ抵抗性	応力緩和下限温度	-9.6℃以上	舗装設計施工要領 首都高速道路株式会社
剥がれ抵抗性	破壊回数	100,000 回以上	舗装設計施工要領 首都高速道路株式会社

◆保護材

試験項目	標準仕様
圧縮強度 (材令 1 日)	15N/mm ² 以下
曲げ強度 (材令 1 日)	4N/mm ² 以上

JIS R5201「セメント物理試験方法」に基づく


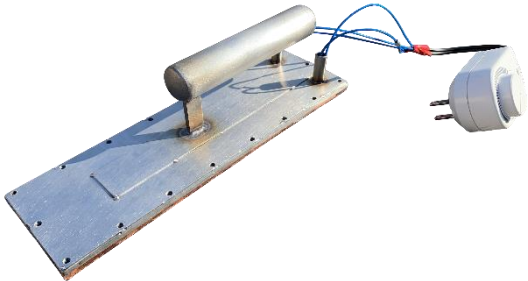
日常施工温度管理

項目	基準値	備考
路面温度	4℃以上	
マスチックワン加熱溶解温度	193℃～204℃	
プライマー塗布温度	60℃以下	

施工機械

1. 溶解釜 ミニメルター-30

ヒーターコテ

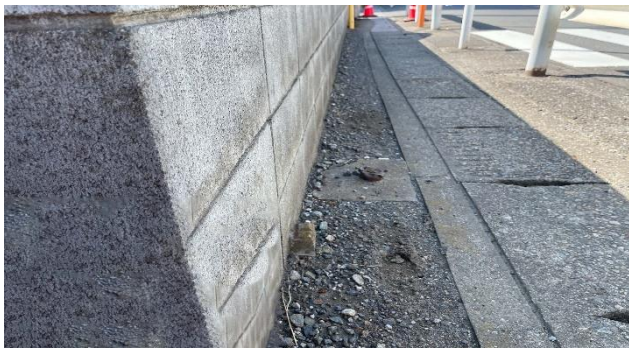
ミニメルター-30 写真	ヒーターコテ
	

2. その他

施工方法

準備工	<ul style="list-style-type: none">* 交通規制* 安全衛生朝礼* 使用機械前使用点検* 溶解釜（ミニメルター30）マスチックワンをいれ溶解します最初は3箱はいります
舗装切断工	<ul style="list-style-type: none">* 舗装切断で幅は根深さによる * 深さ舗装の厚みによるが3cm～5cm おこなう。
ハツリ工及び清掃工	<ul style="list-style-type: none">* 目地部はしっかりと舗装ガラを取り除き、高圧洗浄機などで清掃してからバーナーなどで炙ってください。* ビリーゴートで最後目地部を清掃することをおすすめします
無収縮モルタル充填工	<ul style="list-style-type: none">* 目地部に無収縮モルタルを混練し、充填してください。* 養生時間が必要になります。
プライマー塗布工	<ul style="list-style-type: none">* MK プライマーを端部に塗布します。
マスチックワン敷き均し工	<ul style="list-style-type: none">* 加熱されたマスチックワン（加熱温度 193°C～204°C）を施工面に充填する。* ヒーターコテで敷き均します。
強化保護材敷き均し工	<ul style="list-style-type: none">* クイックパッチ樹脂と袋の中になる粉体とを混練します。* コテで敷き均します
交通開放	<ul style="list-style-type: none">* 交通開放する場合、カラーコーンを置いて開放してください。

防草カットシール #3 工手順



①着工前



②除草作業除草したところに高圧洗浄機で清掃する。



③混練作業

防草カットモルタル 2Kg に対し 400ml の水を入れ混練作業をおこなう



④防草カットモルタル充填



⑤プライマー塗布

MK プライマーを塗布する

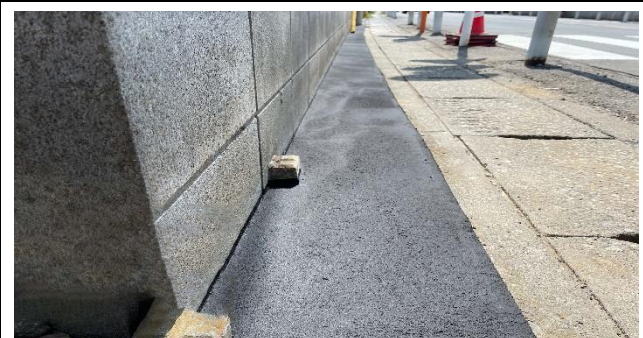


⑥マスティックワンを充填

193°C~203°Cに溶解したマスティックワンを充填



⑦クイックパッチ保護材敷き均し



⑧完成